



■選挙対策について
来年は地方統一選挙があるの
で、その対策として選挙に關係
ある研修会が盛んに実施されて
いる。私が参加しただけでも、
六月二日県社会教育委員研修会

七月八、九日県南地区明正選挙研修会、八月九日龍ヶ崎市明正選挙総会、十月七、八日関東申信越公民館大会における分科会、十一月十六、七日全国明正選挙中央ゼミナーを最後に東京都で開催され、まったく選挙対策にめまぐるしく、ひっかきまわされた感じだ。

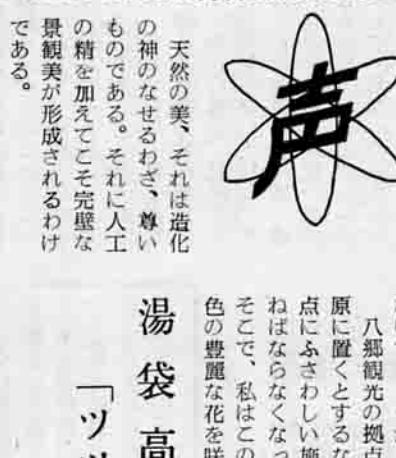
■変わった住民の考え方
数多くの明るく正しい選挙対策研究会に参加、しかも全國から集まつた人たちと話し合つてみて、選挙に対する住民の考え方たが、最近数年前と大きく変わつてあるということである。

第一に、戦後二十数年をへて民主主義思想が普及徹底され、政治意識が高揚し、よい政治なくしてよりよい幸福な生活はありえない、一般大衆が認識しているということである。

第二に、異常な経済成長によって金や物でつられる、しかも全国から集まつた人たちと話し合つてみて、選挙に実な政治家でなければよい政治は見えないと考えるようになつたこと。
■政治に対するめざめ
選挙に對し真に自分の幸福をかちとるために、自分の代表を選ぶのだという考え方、一般にめばえつてあることはいなめない。しかし、いよいよ身近な選挙になるとまだまだ心配だが、心ある人びとは明るく正しい選挙がどんなにたいせつであるかは身をもって感じとっている。

来年をまたないで、すでに県下で首長選が行なわれている。これからも十二月の県議選をはじめとして、来年四月までは毎月どこかの市町村で首長選がおこなわれるところになっている。すでにすんだ市町村のようすを観察すると、三選、四選の首長が多くなっているあるいは対立候補がなかつたり、また多額の資金を使って、前首長の政治実績の前に落選の憂き目を見るという現象がでるという事実はなにを物語っているのだろうか。

■これでいいのだ



湯袋高原に「ツツジ公園」を作ろう

上青柳羽生元信

生産組合が設立した現在、なおさらその必要性を痛感するものである。生産組合が設立した現在、なおさらその必要性を痛感するものである。

観光事業は、人と車が通過するだけではダメであつて、ぜひとも足どまりがなければならぬ。

こうした意味あいからも、「ツツジ公園」の設置は欠くことができない。第一期の計画としては、一期の計画としては、一ヘクタール（用地は国有林を払い下げて充当する）最終的には三ヘクタールの「ツツジ公園」を作ることである。

このセンガンツツジに山ツツジやそのほかの園芸種のサツキなどを加えた一つの大ツツジ公園を作ることであると考へます。そこで違うので、三ヵ月に近い期間、観賞と観光の公園として、人びとの目を楽しませてくれるでしょう。

県議会でも、明正選挙特別委員会を結成してその対策を検討した結果、十二月の県議選から全国でも数少ない選挙公営を実施することを議決した。市町村選管の事務は容易でないことになった。こうなつては市町村選管事務局の強化が必要ではあるまい。選挙にしても二歩前進、一步後退しながらも、選挙は明るく正しい方向へと前进しつつあることは間違いないと思う。これでいいのだ。

恒例の町民ハイキング大会が十月二十五日、奥日光の切込・刈込湖ハイキングコースで開かれました。この大会は、町の体育協会山岳部が主催となつて毎年行なわれているもので、当日は若い男女や家族連れ約四〇名が参加しました。



手を取り合いフォークダンスを楽しむ
— 切込・刈込湖 —

町民ハイキング大会

た自然を眺めながら奥日光をめざしました。紅葉が盛期を迎えた日光は、マイカー族で混雑し、予定より少しおくれて光徳

牧場に到着、大会が開会されました。午前九時三十分、全員そろつて光徳牧場を出発、当日訪れたハイカーカーたちと元気ないさつをかわしながら、切込・刈込湖をめざしました。道々の高山植物や

戦場ヶ原、日光男体山の雄大な姿は、ハイクの疲れを忘れさせてくれ、ゆたかな気持ちしてくれました。

正午近く、山々を背にきれいな水をたたえた切込・

刈込湖に到着、しばらく自

然の美しさに浸つた後、昼食をとり、午後のひとときを

をフォーカークダンスをして愉

快に過ごしました。

午後は、バスの待つ湯本まで下り、午後三時、楽し

かつたハイキング大会を終

わりました。

盛大に「青年祭」開く

歌や踊などに熱演



踊や劇など、趣向をこらした催し物が出される、年に一度の「青年祭」が、十

月一日、八郷公民館において盛大に開かれました。当日は青年団員約一〇〇名が参加、仕事から解放された一日を、演技者になつたり、仲間の演技に声援を送つたりして楽しくすごしました。

今年は、青年団のありか

今年は、青年団のありか

今年は、青年団のありか



林支團代表



たというものを考
え直そうと、各支
團の代表七人によ
る「意見発表」が

行なわれ、青年団
活動の反省する点
や時代に即した青

史のもとに存続し
られる青年団とい

うものを考えなお
し、より良い青年

団にしようとい

うのを考へな

い

ら自然を眺めながら奥日光をめざしました。紅葉が盛期を迎えた日光は、マイカー族で混雑し、予定より少しおくれて光徳

牧場に到着、大会が開会されました。午前九時三十分、全員そろつて光徳牧場を出発、当

日訪れたハイカーカーたちと元

気ないさつをかわしながら、切込・刈込湖をめざしました。道々の高山植物や

戦場ヶ原、日光男体山の雄

大な姿は、ハイクの疲れを

忘れさせてくれ、ゆたかな

気持ちしてくれました。

正午近く、山々を背にき

れいな水をたたえた切込・

刈込湖に到着、しばらく自

然の美しさに浸つた後、昼

食をとり、午後のひととき

をフォーカークダンスをして愉

快に過ごしました。

午後は、バスの待つ湯本

まで下り、午後三時、楽し

かつたハイキング大会を終

わりました。

「意見発表」を終

りました。

た自然を眺めながら奥日光をめざしました。紅葉が盛期を迎えた日光は、マイカー族で混雑し、予定より少しおくれて光徳

牧場に到着、大会が開会されました。午前九時三十分、全員そろつて光徳牧場を出発、当

日訪れたハイカーカーたちと元

気ないさつをかわしながら、切込・刈込湖をめざしました。道々の高山植物や

戦場ヶ原、日光男体山の雄

大な姿は、ハイクの疲れを

忘れさせてくれ、ゆたかな

気持ちしてくれました。

正午近く、山々を背にき

れいな水をたたえた切込・

刈込湖に到着、しばらく自

然の美しさに浸つた後、昼

食をとり、午後のひととき

をフォーカークダンスをして愉

快に過ごしました。

午後は、バスの待つ湯本

まで下り、午後三時、楽し

かつたハイキング大会を終

わりました。

「意見発表」を終

りました。

た自然を眺めながら奥日光をめざしました。紅葉が盛期を迎えた日光は、マイカー族で混雑し、予定より少しおくれて光徳

牧場に到着、大会が開会されました。午前九時三十分、全員そろつて光徳牧場を出發、当

日訪れたハイカーカーたちと元

気ないさつをかわしながら、切込・刈込湖をめざしました。道々の高山植物や

戦場ヶ原、日光男体山の雄

大な姿は、ハイクの疲れを

忘れさせてくれ、ゆたかな

気持ちしてくれました。

正午近く、山々を背にき

れいな水をたたえた切込・

刈込湖に到着、しばらく自

然の美しさに浸つた後、昼

食をとり、午後のひととき

をフォーカークダンスをして愉

快に過ごしました。

午後は、バスの待つ湯本

まで下り、午後三時、楽し

かつたハイキング大会を終

わりました。

「意見発表」を終

りました。

た自然を眺めながら奥日光をめざしました。紅葉が盛期を迎えた日光は、マイカー族で混雑し、予定より少しおくれて光徳

牧場に到着、大会が開会されました。午前九時三十分、全員そろつて光徳牧場を出發、当

日訪れたハイカーカーたちと元

気ないさつをかわしながら、切込・刈込湖をめざしました。道々の高山植物や

戦場ヶ原、日光男体山の雄

大な姿は、ハイクの疲れを

忘れさせてくれ、ゆたかな

気持ちしてくれました。

正午近く、山々を背にき

れいな水をたたえた切込・

刈込湖に到着、しばらく自

然の美しさに浸つた後、昼

食をとり、午後のひととき

をフォーカークダンスをして愉

快に過ごしました。

午後は、バスの待つ湯本

まで下り、午後三時、楽し

かつたハイキング大会を終

わりました。

「意見発表」を終

りました。

た自然を眺めながら奥日光をめざしました。紅葉が盛期を迎えた日光は、マイカー族で混雑し、予定より少しおくれて光徳

牧場に到着、大会が開会されました。午前九時三十分、全員そろつて光徳牧場を出發、当

日訪れたハイカーカーたちと元

気ないさつをかわしながら、切込・刈込湖をめざしました。道々の高山植物や

戦場ヶ原、日光男体山の雄

大な姿は、ハイクの疲れを

忘れさせてくれ、ゆたかな

気持ちしてくれました。

正午近く、山々を背にき

れいな水をたたえた切込・

刈込湖に到着、しばらく自

然の美しさに浸つた後、昼

食をとり、午後のひととき

をフォーカークダンスをして愉

快に過ごしました。

午後は、バスの待つ湯本

まで下り、午後三時、楽し

かつたハイキング大会を終

わりました。

「意見発表」を終

りました。

た自然を眺めながら奥日光をめざしました。紅葉が盛期を迎えた日光は、マイカー族で混雑し、予定より少しおくれて光徳

牧場に到着、